



2023年3月期
決算説明会資料

2023年5月24日（水）

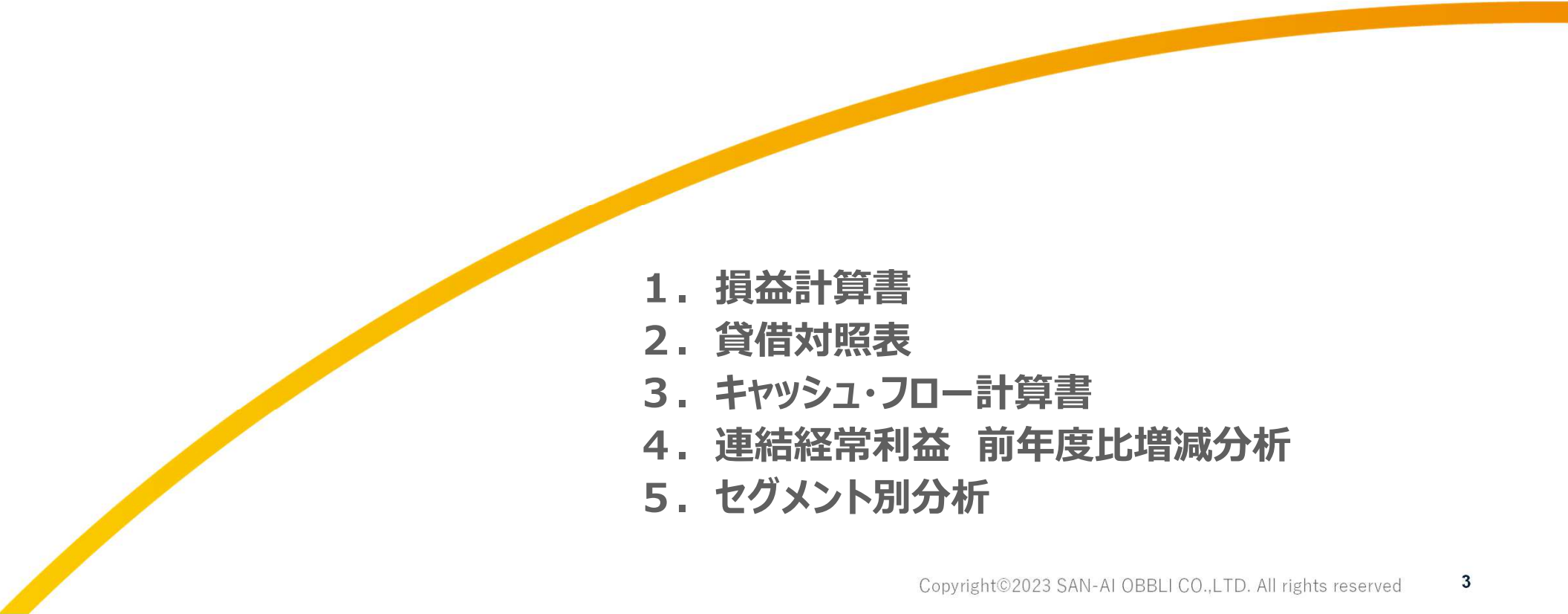
三愛オブリ株式会社

（東証プライム市場 8097）

目次

1. 2023年3月期 連結決算概要
2. 中期経営計画進捗状況
3. 今年度経営方針

1. 2023年3月期 連結決算概要

- 
- A thick, yellow, curved line that starts from the bottom left and arcs upwards towards the right, underlining the main title and the list of contents.
1. 損益計算書
 2. 貸借対照表
 3. キャッシュ・フロー計算書
 4. 連結経常利益 前年度比増減分析
 5. セグメント別分析

1. 損益計算書

- ・主に石油製品の販売価格上昇により売上高は伸長
- ・各事業戦略の徹底による適正利幅確保と航空需要の回復等により利益面は好調に推移

(単位：億円)	2022年3月期	2023年3月期	前期比
売上高	5,987	6,478	108.2%
売上総利益	525	584	111.2%
販売管費	405	432	106.8%
営業利益	120	152	126.1%
営業外収益	13	11	85.1%
営業外費用	3	3	105.3%
経常利益	131	160	122.2%
特別利益	2	11	518.4%
特別損失	5	3	72.4%
税金等調整前純利益	128	167	131.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	83	109	131.2%

2. 貸借対照表

2022年3月期			2023年3月期	(単位：億円)
流動資産 936	流動負債 660 固定負債 194 (有利子負債 78)	純資産 1,123 自己資本比率 54.2%	流動資産 983	流動負債 674 固定負債 163 (有利子負債 70)
有形固定資産 517	有形固定資産 515		純資産 1,174	
無形固定資産 48	無形固定資産 61		自己資本比率 55.5%	
投資その他の資産 475	投資その他の資産 451			

3. キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるCF	105	189
投資活動によるCF	▲32	▲32
財務活動によるCF	▲57	▲69
現金及び現金同等物の増減額	15	87
現金及び現金同等物の期首残高	364	379
現金及び現金同等物の期末残高	<u>379</u>	<u>467</u>

主なキャッシュフロー内訳

営業CF

税金等調整前当期純利益 +167億円
 減価償却費/のれん償却額 +56億円
 法人税等支払額 -44億円

投資CF

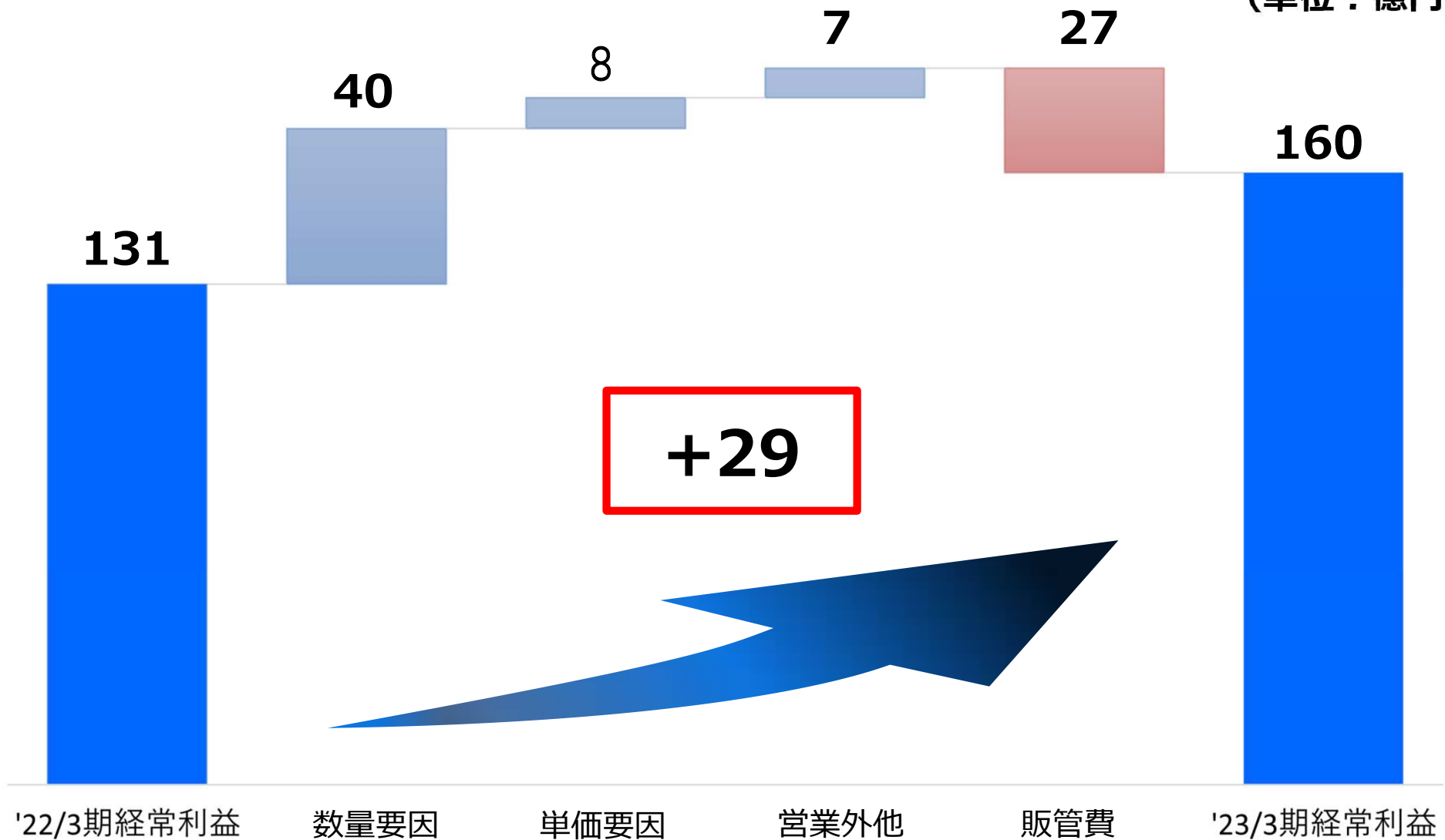
有形・無形固定資産取得 -63億円
 投資有価証券・有形固定資産売却 +28億円

財務CF

配当金支払額 -33億円
 自己株式取得 -22億円
 長期借入金返済額 -8億円

4. 連結經常利益 前年度比増減分析

(単位：億円)



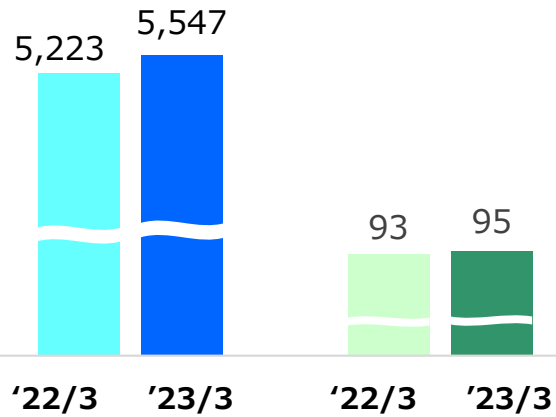
5. セグメント別分析

(億円)

石油関連事業

売上高

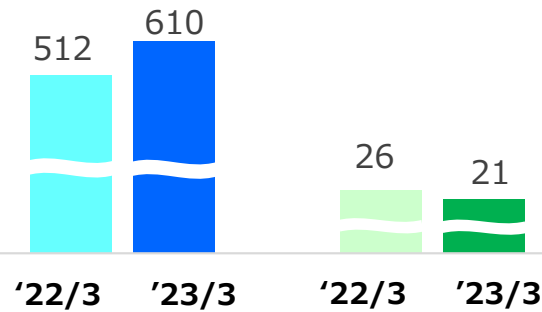
経常利益



ガス関連事業

売上高

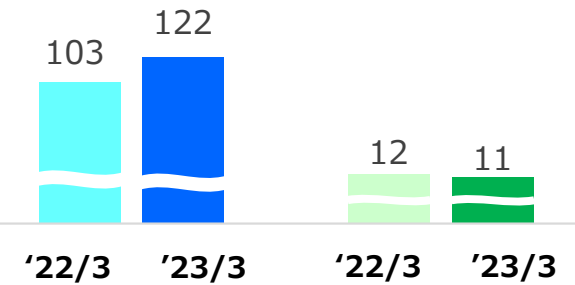
経常利益



化学品関連事業

売上高

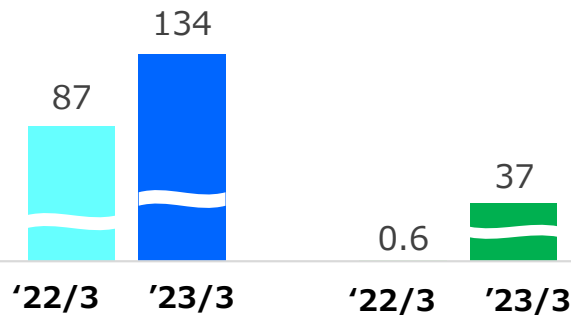
経常利益



航空関連事業

売上高

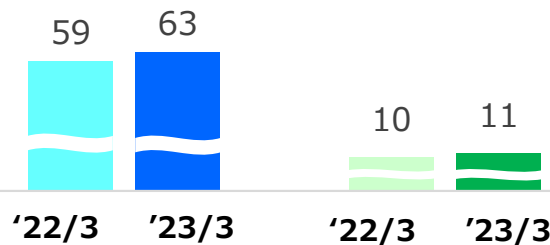
経常利益



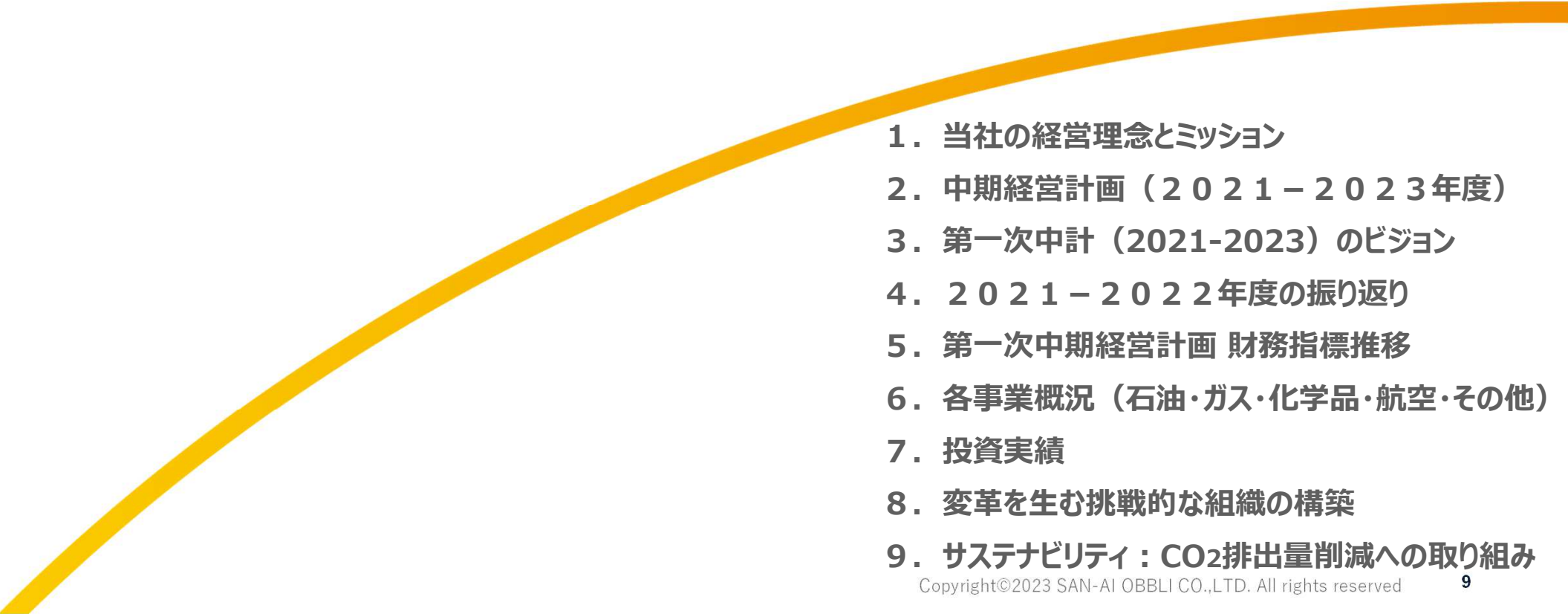
その他

売上高

経常利益

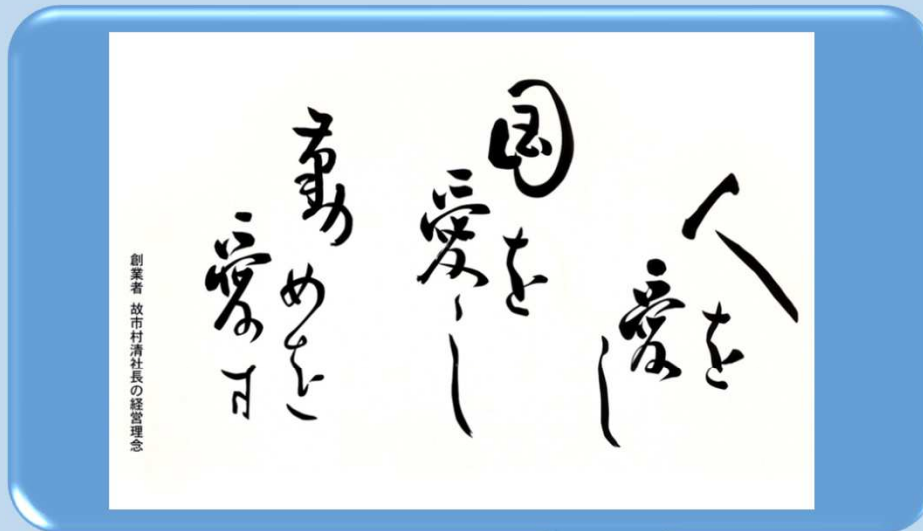


2. 中期経営計画進捗状況

- 
- A thick, yellow, curved line that starts from the bottom left and arcs upwards towards the right, passing behind the list of items.
1. 当社の経営理念とミッション
 2. 中期経営計画（2021－2023年度）
 3. 第一次中計（2021-2023）のビジョン
 4. 2021－2022年度の振り返り
 5. 第一次中期経営計画 財務指標推移
 6. 各事業概況（石油・ガス・化学品・航空・その他）
 7. 投資実績
 8. 変革を生む挑戦的な組織の構築
 9. サステナビリティ：CO₂排出量削減への取り組み

1. 当社の経営理念とミッション

<三愛精神>



<コーポレートブランド>



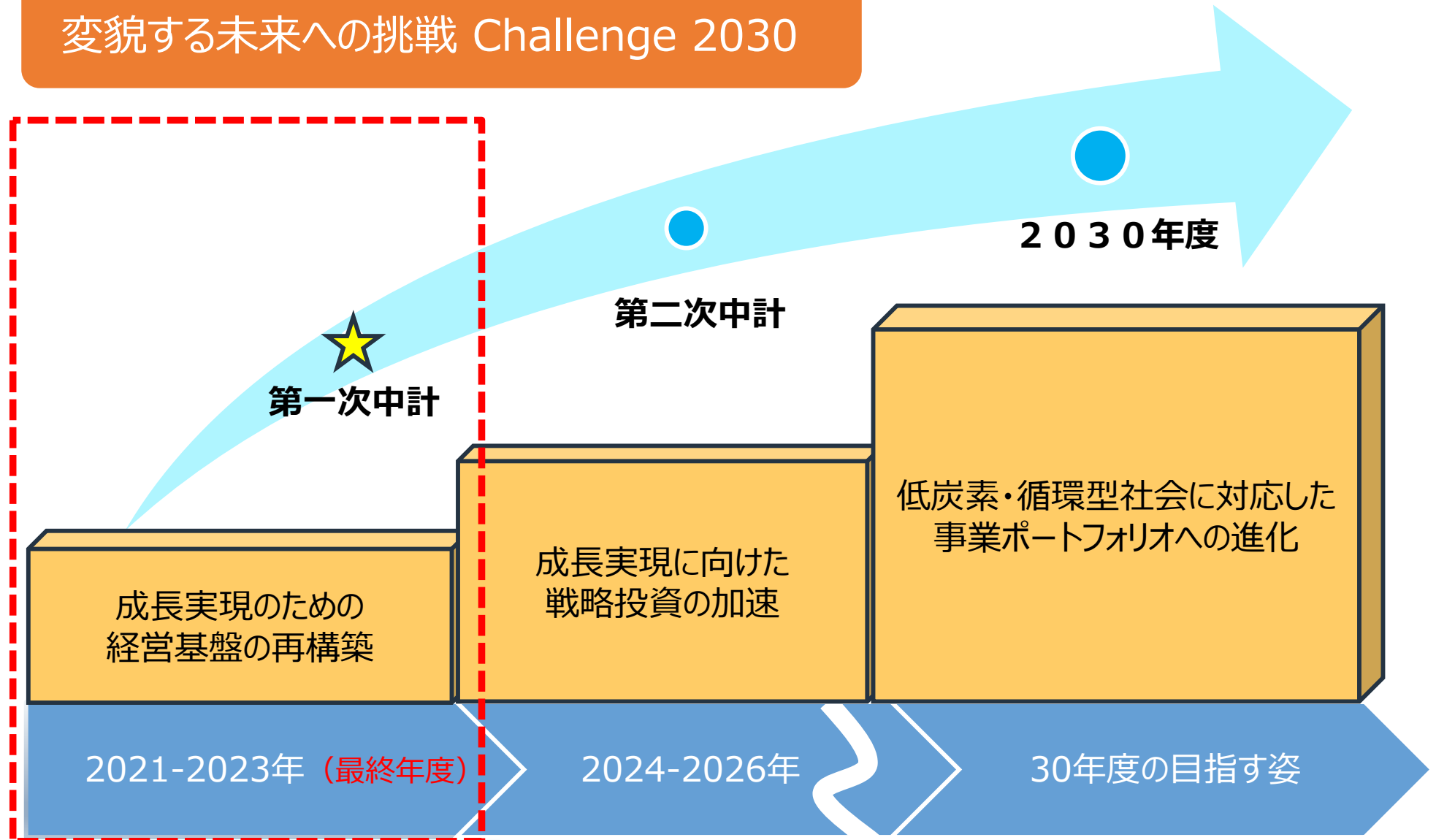
『総合的ソリューション』
の提供

人々の生活と産業を
支えるパートナーとなる

『新たな事業領域』
への挑戦

2. 中期経営計画（2021-2023年度）

変貌する未来への挑戦 Challenge 2030



3. 第一次中計（2021-2023）のビジョン

事業戦略

- 石油関連事業の効率化と他事業への経営資源の拠出
- 成長可能性のある事業へのM&Aも含めた投資（2030年までに累計1,000億円）
- 事業間連携によるさらなるシナジーの創出

組織体制の強化

- グループマネジメント体制の強化（DX、研究開発体制）
- 変革を生む挑戦的な組織風土の醸成（人事制度整備、研修・採用の強化）

2030年度に目指す姿

低炭素、循環型社会に対応したポートフォリオへの進化

4. 2021-2022年度の振り返り

社会情勢

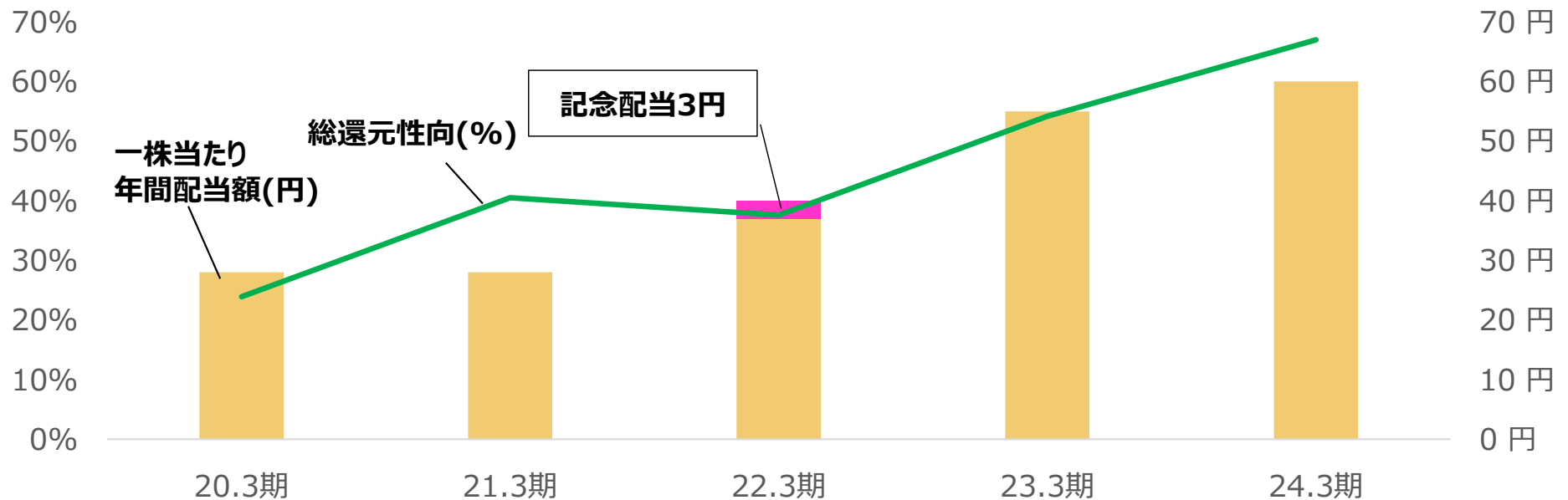
エネルギー、食料資源等の価格高騰、インフレの進行	円安進行、輸入物価高騰、コストアップインフレ
ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの顕在化	新型コロナウイルス感染症からの経済活動正常化への動き

当社の取り組み

トピックス	詳細
過去最高益	2023年3月期連結経常利益：160億円
株式の売り出し	当社株式の売出：674万株（2022年1月）
保有上場株式の縮減	35銘柄／約50億円減少（簿価ベース、2020～2022年度累計）
非事業用資産の圧縮	固定資産売却額：14億円（2021～2022年度累計）
自己株式の取得と消却	自己株式取得：25億円（2021～2022年度累計） 自己株式消却：35億円（2022年度）

5. 第一次中期経営計画 財務指標推移

<連結>	中期経営計画 財務目標	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (予想)
経常利益	140億円	131億円	160億円	160億円
ROE	8.0%以上	8.0%	10.0%	8.8%
配当性向	30.0%以上	33.2%	34.3%	40.2%
	@配当額/年	40円	55円	60円
	自己株取得	373百万円	2,200百万円	2,800百万円
	自己株消却	-	3,548百万円	-
	総還元性向	37.6%	54.2%	67.0%



6 - (1) 各事業概況 ～石油関連事業～

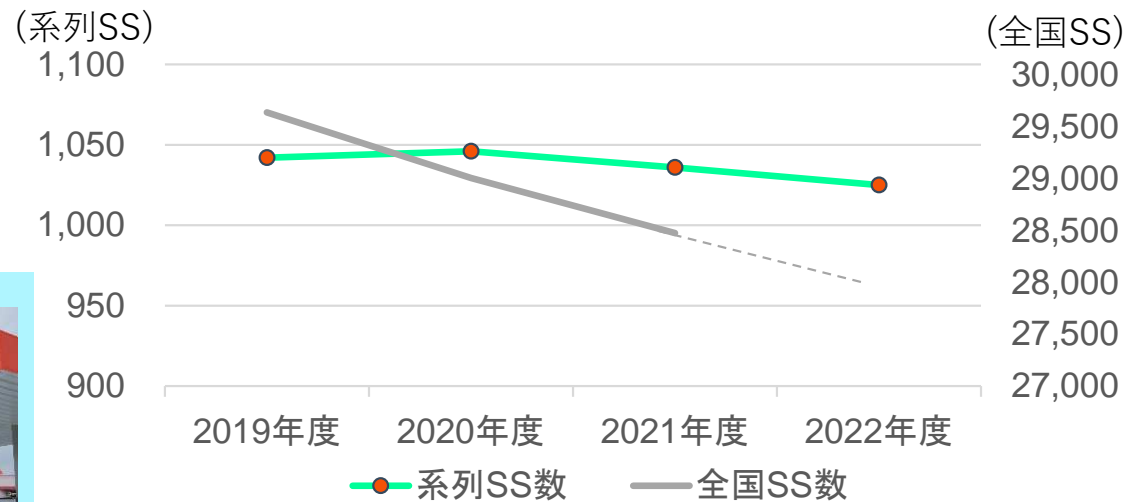
■ 卸売・小売事業が堅調に推移

主な事業戦略	進捗状況
SS(1)の収益性向上、SS数の維持拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量伸長、油外収益拡大 ・競争力のあるSSを新規獲得（SS数シェアを維持）
デジタル技術活用による業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリ「Mantan」のサービス拡充

石油セグメント利益

- 2021年3月期：98億円
- 2022年3月期：93億円
- 2023年3月期：95億円

系列SS数推移



1: サービスステーション



6 - (2) 各事業概況 ～ガス関連事業～

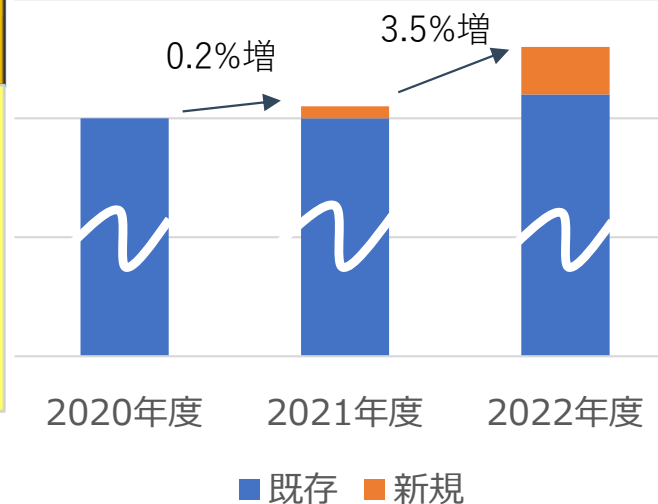
- LPガス直販顧客軒数の増加
- 天然ガス販売数量の増加（大口需要家の獲得）

主な事業戦略	進捗状況
【LPガス】 ・小売消費者軒数の拡大 ・デジタル技術活用による業務効率化	・小売営業権の買収等を実施し、顧客軒数3.5%増加 ・自動検針システム（LPWA ⁽¹⁾ ）導入による保安業務の効率化推進
【天然ガス】 ・天然ガスの顧客拡大 ・OES ⁽²⁾ 検討・提案、新規営業強化	・新規大口需要家（味の素株式会社 九州事業所）への供給開始 ・OES提案継続中

ガスセグメント利益

- 2021年3月期：27億円
- 2022年3月期：26億円
- 2023年3月期：21億円

LPガス小売軒数推移



1: Low Power Wide Area
2: Onsite Energy Service

6 - (3) 各事業概況 ～化学品関連事業～

■ 外部機関との三者共同研究契約を締結

主な事業戦略	進捗状況
研究開発体制の強化	・某大学の研究機関と三者共同研究契約を締結し、研究開発を開始
新商品／新サービスの開発	・新たな用途に向けた洗浄剤、防錆剤の研究開発推進 ➡船舶用防錆剤のフィールドテスト実施中
商品拡充に向けた業務提携推進	・パートナー候補企業の検討

化学品セグメント利益

- 2021年3月期： 8億円
- 2022年3月期： 12億円
- 2023年3月期： 11億円



6 - (4) 各事業概況 ～航空関連事業～

■ 羽田空港における国内線はコロナ禍前の水準まで回復し、国際線も回復傾向

主な事業戦略	進捗状況
既存航空機給油施設への投資拡大	<ul style="list-style-type: none"> • 空港整備計画に基づいて各種調査・検討・準備を実施 • 給油及び機器点検システムの導入、推進
地方空港航空機給油施設の獲得	<ul style="list-style-type: none"> • 全国97空港のうち26空港を当社グループがカバー

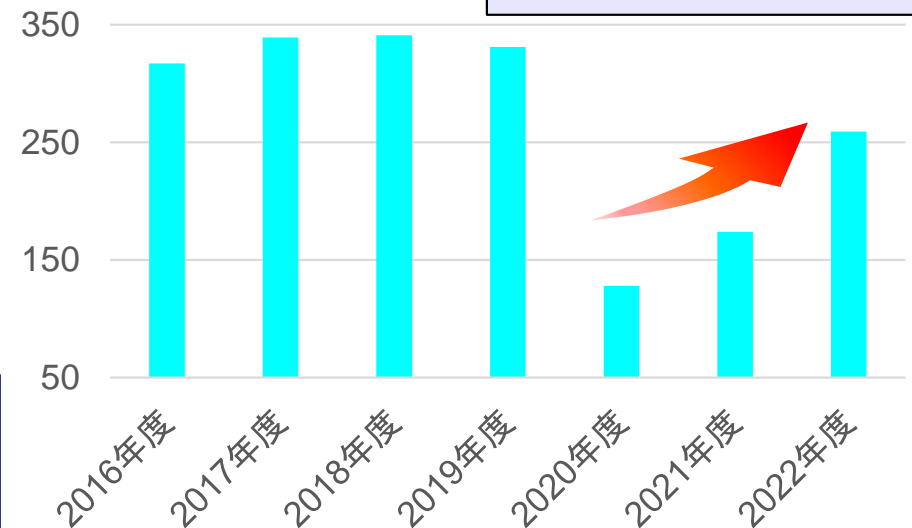
航空セグメント利益

- 2021年3月期：▲26億円
- 2022年3月期： 0.6億円
- 2023年3月期： 37億円

羽田空港航空燃料取扱数量

(万KL)

2022年搬出数量：260万KL



三菱オブリグループ
オペレーション空港

26空港

国内最大の発着数を有する
羽田空港の航空機給油施設を運営



※：2021年3月期利益は、セグメント分割前のため、その他事業を含む

6 – (5) 各事業概況 ～その他成長事業～

- 三愛オブリテック(株) 半導体製造装置向け部品の高品質精密洗浄・研磨の需要増加
2022年度施工実績：水素ステーション関連 2 件
- 風力発電（風車ギアボックス）向け内視鏡調査等の需要拡大により、当社関与件数増加
- ベルギーのWIPAケミカル社（ガスエンジン向けオイルメーカー）との総代理店契約締結
- 風力発電所の出資を検討（開発調査中）



(高知水素ステーション@土佐酸素株式会社様)



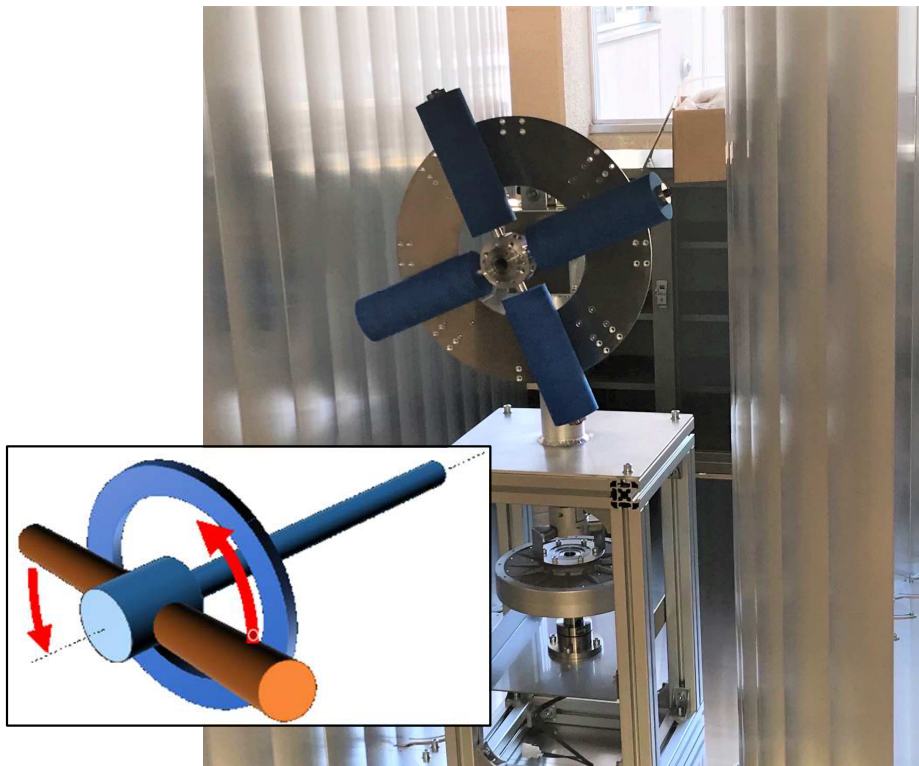
7. 投資実績

事業区分	計画投資額 (2021~2030)	実績投資額 (累計)	投資対象	中計進捗率
成長事業 (ガス・化学品・その他)	300億円	57億円	<ul style="list-style-type: none"> ・LPガス小売営業権 ・化学メーカー資本提携 ・天然ガス事業 	19.0%
安定基盤事業 (航空)	400億円	31億円	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機給油施設増強 ・地方空港給油施設買収 	7.9%
効率化事業 (石油)	250億円	41億円	<ul style="list-style-type: none"> ・油槽所及びSS更新投資 	16.7%
全社共通	50億円	17億円	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹システム ・IT関連 ・新規事業／研究開発 	35.8%
合計	1,000億円	148億円	—	14.8%

8. 変革を生む挑戦的な組織の構築

- 2022年4月 『事業開発部』を新設
- 2022年9月 国立大学法人長岡技術科学大学及び(株)パンタレイとの間で、円柱翼風車の社会における実用化を目指し、三者間共同研究契約を締結
- テスラ社製家庭用蓄電池販売開始

縦渦式風車 = 円柱翼 + リング



5か国(日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、オーストラリア)で
特許取得済 (WO2016-111209)

テスラ社製家庭用蓄電池



9. サステナビリティ ～CO2排出量削減への取り組み～

- 航空事業部 太陽光発電設備を2箇所設置（2022年2月および2023年2月）
電気自動車導入、非化石証書電力の購入、リニューアブルディーゼル使用
- 大井町オフィスおよび直営27サービスステーションへのグリーン電力導入
（2023年4月より順次導入開始）

航空事業部 太陽光発電設備

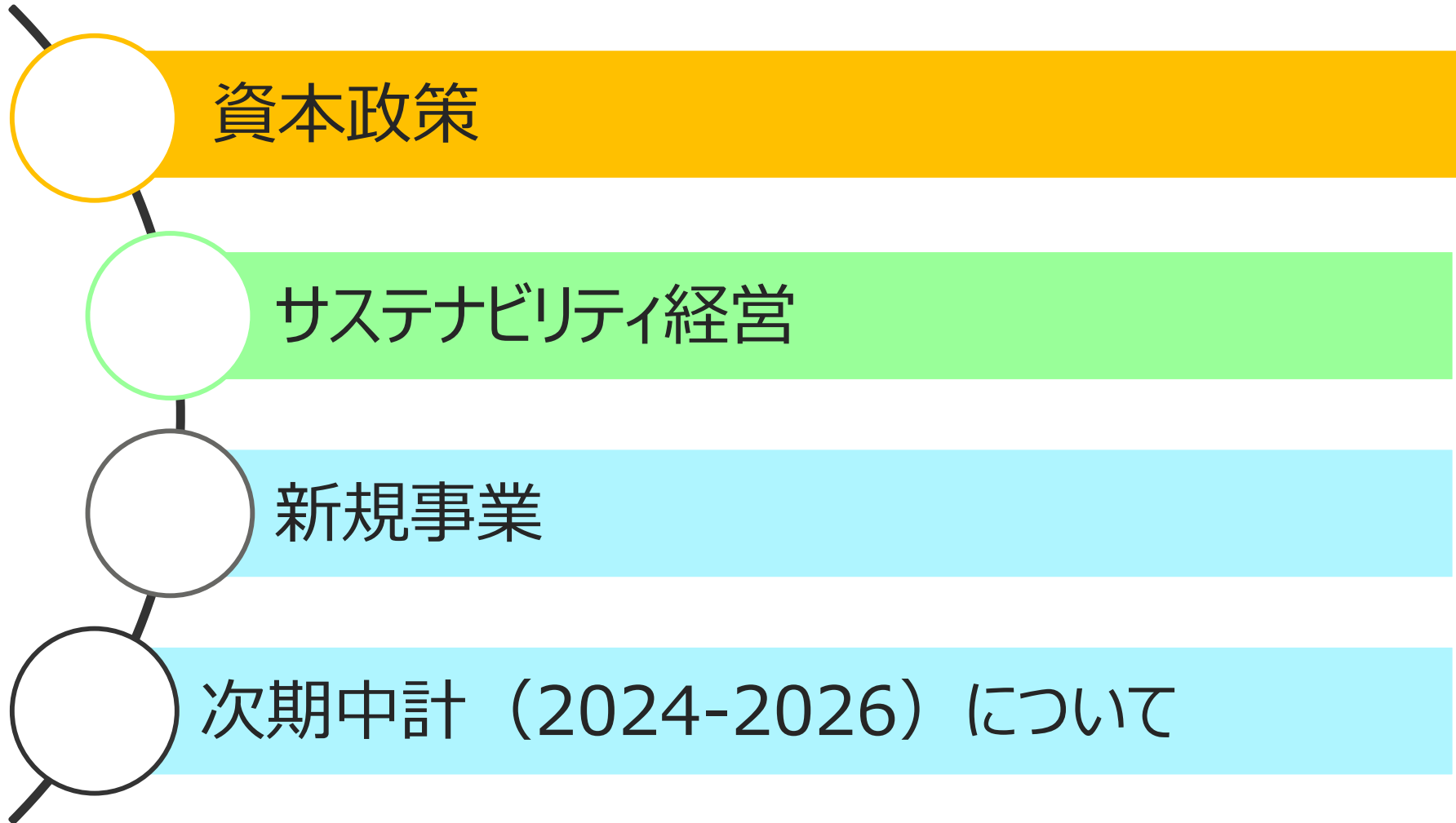


キグナス石油SS
キャンピーに太陽光発電設置



3. 今年度経営方針

3. 今年度経営方針





(本資料についての留意事項)

- 本資料に記載されているデータや将来予測は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。
- 実際の業績はさまざまな要因によって、異なる結果となることがあるため、将来の業績を保証するものではありません。
- 本資料利用によって生じたいかなる損害については、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先：三愛オブリ株式会社
TEL：03-6880-3100（代表）